

「第 16 回 水辺の匠 2023」 活動のふりかえり



1. 活動報告

- ・昨秋に続き「第 16 回 水辺の匠 2023」において、「大津市プラスチックごみ削減勉強会」として、親子づれの参加者を対象とした「プラごみクイズ」をとおして、プラごみ削減をめざすための啓発活動を行った

【日 時】 2023 年 7 月 23 日（日・祝） 9 時 30 分～16 時

【場 所】 ウォーターステーション琵琶とアクア琵琶(当会はウォーターステーション 2 階)

【参加団体】 21 団体 全体スタッフ：107 名

(スタッフ集合写真)



【当会スタッフ】 7 名

【当会のブース】 「プラスチッククイズでヒーロ-になろう！」

【内 容】 参加者に身近なプラスチックの種類や特徴やプラスチックごみ問題をまとめたパネルを掲示し、机の上に実物のプラごみの見本を設置する。

プラスチック・クイズは紙芝居方式で、スタッフが一問ずつ読み上げて参加者に回答をしてもらう。参加者は、クイズを聞き、それぞれに配られた①～③までの番号札の中から、正解と思う札を一斉に掲げる。スタッフは、正解を伝え、そのクイズについてのコメントを話す。クイズは、全部で 17 問。その後、参加者には「私のプラごみ宣言」を書いてポストイットしていただき、クイズの正解表と参加賞のヨーヨーをプレゼントする。クイズは、1 回 22 分程度。クイズ出題は、2 名一組で担当。全員がクイズ担当をする。他役割分担を決める。

【資 材】 ・クイズシート、 掲示用パネル、 見本となる各種類のプラスチックごみ
・お魚型のポストイットを貼る大きな台、 ヨーヨーツリー
・机 2 台、椅子 8 脚、パネル 2 台

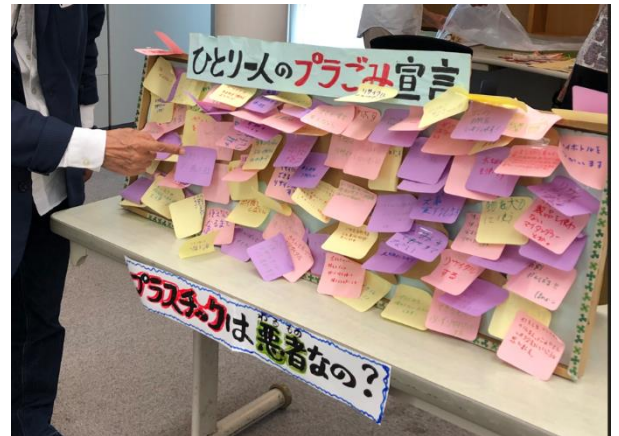
2. 結果 (来場者数) 562 名
クイズ実施回数 : 7 回
クイズ参加者数 : 129 名

3. 参加者の「プラごみ宣言」 (ポストイットの内容別集計結果)

回答数：101 名

回収率＝ 78.3 %

きちんと分別する	25名
海・川・道路にゴミをポイ捨てしない	21名
リサイクルをする (進める)	19名
大切に使う	13名
マイバッグ・マイボトルを使う	6名
3Rをがんばる	5名
プラスチック製品を買わない・使わない	5名
使い捨て容器を減らす	1名
ゴミ拾いをする	1名
その他 + イラスト	5名



参加者の「ひとり一人のプラごみ宣言」

4. 活動の様子



大津市プラごみ削減勉強会のスタッフ



5. 感想

* 今回の「水辺の匠」は、例年の3倍の予算でチラシを全戸配布したが、結果が出ていなかった。
前日の7月22日に南郷まつりが盛大に行われた影響から、予想より地域の参加が少なかった。
屋内のスペースに全団体が入っていたので、これくらいの参加が適切人数だったかも。
夏らしい出し物がもっと欲しかった。プラごみ削減勉強会だけが、ヨーヨーを賞品で無料提供。
* 他のブースは、20組ほどの参加だったが、プラごみクイズの参加が一番多かった。賞品の魅力で集まったのかもしれないが、開始から終了までほぼ席が埋まり込み合っていた。
20分以上かかるクイズを幼い子らが、最後まで真剣に挑戦してくれた。
紙芝居型の出題と番号札を使った回答方式だと、動きがあったため子ども達もしっかり参加してくれた。クイズ内容もまあまあ分かりやすくてよかった。プラごみ宣言のポストイット回収率も高かった。少し理解してもらえたように感じた。
スタッフは、昨年よりも慣れてそれぞれの個性を強調できる余裕があった。役割分担や交代の流れもスムーズにできた。
ヨーヨーの準備は、初めのうちは慣れなくて大変だったが、ヨーヨーを嬉しそうに受け取る子ども達の笑顔が見られてよかった。
昨年同様に、他の団体のブースを見たり、見学ツアーに参加できなかったのが、残念だった。

おおつエコフェスタ 2023 活動のふりかえり



1. 活動報告

- ・ 昨年に続きおおつエコフェスタ 2023 において、「大津市プラスチックごみ削減勉強会」として、親子づれの参加者を対象とした「プラごみクイズ」を提供し、プラごみ削減をめざすための啓発活動を行った。

【日時】 2023年8月6日（日）10時30分～15時

【場所】 ピアザ淡海3階 （当会ブースは、3階ホワイエ中央）

【当会スタッフ】 6名

【当会のブース】 「プラスチッククイズでヒーローになろう！」

【内容】 参加者に身近なプラスチックの種類や特徴やプラスチックごみ問題をまとめたパネルを掲示し、机の上に実物のプラごみの見本を設置する。

プラスチック・クイズは紙芝居方式で、スタッフが一問ずつ読み上げて参加者に回答をしてもらう。参加者は、クイズを聞き、それぞれに配られた①～③までの番号札の中から、正解と思う札を一斉に掲げる。スタッフは、正解を伝え、そのクイズについてのコメントを話す。クイズは、全部で17問。

その後、参加者には「私のプラごみ宣言」を書いてポストイットしていただき、クイズの正解表と参加賞のヨーヨーをプレゼントする。クイズは、1回22分程度。クイズ出題は、2名一組で担当。全員がクイズ担当をする。他役割分担を決める。

- 【資材】 ・クイズシート、 掲示用パネル、 見本となる各種類のプラスチックごみ
・お魚型のポストイット貼り付け台、ヨーヨーツリー
・机1台、椅子8脚、パネル1台

2. 結果 (来場者数) 約1200名
クイズ実施回数 : 7回
クイズ参加者数 : 138名

3. 参加者の「プラごみ宣言」 (ポストイットの内容別集計結果)
回答数: 89名 回収率= 64.5%

リサイクルをする (進める)	27名
きちんと分別する	20名
海・川・道路にゴミをポイ捨てしない	11名
大切に使う	12名
3Rをがんばる	6名
何でもすぐには買わない	5名
プラスチック製品を減らす	4名
その他	3名
プラスチックのリサイクルがわかった	1名

参加者の「ひとり一人のプラごみ宣言」



4. 活動の様子

おおつエコフェスタ 2023 集合写真



大津市プラスチックごみ削減勉強会のスタッフ





5. 感想

* 環境を学び、参加体験できる活動の実践と丁寧な対応があったとの感想をいただいた。

水辺の匠に参加した後であったため、イベントの雰囲気にも慣れてきて、スタッフ全員が楽しんで参加していたようだ。スタッフは、回を重ねるごとにそれぞれ個性的な表現にも余裕がでて、クイズの説明をしながら参加者の様子を見たり双方向のやり取りもできるようになっていた。

交代で休憩時間をとるのが難しいため、ランチの時間を設けてしっかり休憩をしたが、疲れた。

来場者の対応とヨーヨーづくりにも追われていた。ヨーヨーは好評だった。

昨年のような大音響の音楽がなかったので、落ち着いてクイズとコメントの話ができた。

最後の回で参加してくれた親子づれから「とても面白いし勉強になった。来年もやってください」との感想をいただいた。他にも「勉強になった」「知らないことがわかった」と、言ってもらえた。

次回は、もっとクイズの内容やポイントの精査も必要かもしれない。

本年のエコフェスタは通常開催であったため予想以上に大変だったが、充実感を得ることができた。

以上